

米子市認知症施策の実績

1. 認知症への理解を深めるための普及啓発

①認知症サポーター養成講座（地域出前講座）

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する応援者を養成します。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開催回数	22回	18回	21回
受講人数	637人	459人	623人
内訳	地域住民 2回 26人 病院・施設職 8回 83人 企業 3回 22人 小学校・大学等 14回 506人	地域住民 4回 54人 病院・施設職 5回 78人 企業 4回 42人 小学校・大学等 5回（10クラス） 285人	地域住民 5回 80人 病院・施設職 5回 87人 企業 2回 14人 小学校・高校等 9回 442人

※H21年からの累計 21,707人

②市民講座の開催

「100歳時代の認知症とのつきあい方」をテーマに、認知症の本人や介護家族の思い、認知症という病気についての学びや備え、介護保険サービスの使い方など全5回の講座を開催しました。

2. 認知症の容態に応じた適時、適切な医療・介護等の提供

①地域包括支援センターへの認知症の相談件数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (4～2月)
認知症の相談件数（電話・訪問） 延べ人数	3538人	2691人	1970人
うち新規 実人数	374人	365人	322人
受診に繋がった数	37人	44人	54人
介護・予防サービス	125人	133人	101人
地域活動参加（サロン等）	14人	2人	43人
認知症地域支援推進員との連携	－	53人	19人
拒否	5人	16人	11人

②認知症地域支援推進員

今年度より1名増員し、2名配置となりました。医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の連携の支援や、認知症の人やその家族等への相談支援を行なっています。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (4~1月)
地域包括支援センター等からの 相談件数 延べ数（うち新規）	412人（87人）	537人（66人）	671人（51人）
訪問件数 延べ数（うち新規）	197人（57人）	306人（42人）	387人（40人）

③認知症予防事業

認知症予防プログラムにて、有酸素運動や創作活動、脳活性トレーニング、外出活動、口腔ケア等を実施し、人との交流を図ることで、認知機能の維持・改善し自立した生活が送られ続けるように支援を行っています。

- ・五千石にて、事業対象者向けに実施しています
- ・わだや小路にて、毎月第1月曜日に実施しています。

④認知症初期集中支援推進事業

医療・介護の専門職が家族の相談等により、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、必要な医療や介護の導入や家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行い、生活の支援をしていく認知症初期集中支援チームを配置しています。チーム員会議は7つの包括支援センターを2つに分け、定期的に開催しています。また、緊急事例に対する随時開催も行っております。

(1) チームの体制

西部医師会	作業療法士会	地域包括支援センター	市
認知症サポート医5名	作業療法士2名	保健師、看護師、社会福祉士、 介護福祉士、介護支援専門員	認知症地域支援推進員

(2) チーム員会議

Aチーム：ふれあいの里包括、尚徳包括、箕蚊屋包括、淀江包括

Bチーム：義方・湊山包括、住吉・加茂包括、弓浜包括

	定期	随時
開催回数	7回（Aチーム4回Bチーム3回）	2回（Aチーム2回Bチーム0回）
検討事例数	延べ13件（実8件）	1件
1回あたりの検討数	最小1件 最大3件	1件

(3) 検討事例

ア) 事例提供時の介護度

	未申請	非該当	要支援		要介護				
			1	2	1	2	3	4	5
令和2年度	6	0	1	0	1	0	0	0	0
令和3年度	2	0	0	2	1	0	0	0	0
令和4年度	6	0	1	1	0	0	0	0	0

イ) 事例提供時の家族構成

	独居	夫婦のみ	多世代
令和2年度	1	1	6
令和3年度	3	0	2
令和4年度	5	3	0

ウ) 事例の把握経路

	本人	家族親族	近所・知人等	警察・免許返納	病院	他
令和2年度	0	5	0	0	0	3
令和3年度	2	0	1	0	1	1
令和4年度	0	3	1	0	0	4

他：米子市障がい者支援課、民生委員、家族のケアマネ、介護保険調査員

⑤認知症の相談窓口一覧のチラシ、冊子など

医療機関、薬局、地域包括支援センター、公民館、図書館等に設置を依頼しました。

3. 若年性認知症施策の強化

相談窓口「鳥取県若年認知症サポートセンター」を周知しています。

企業への認知症サポーター養成講座時、若年性認知症について相談窓口と合わせて周知をしています。

4. 認知症の人の介護者への支援

①認知症カフェの開設

認知症の方とその家族、地域住民、専門職等、誰もが参加でき、認知症についての相談や学びの場として、団体・法人の協力により「認知症カフェ」を開設しています。

令和5年2月現在、市内には合計16か所あります。

名称	所在地	運営	曜日と時間
まちなかカフェわだや小路	糺町1丁目	認知症のひとと家族の会 鳥取県支部	毎週火曜日 11時～15時
オレンジサロンかみごとう	上後藤3丁目	養和病院認知症疾患医療センター	休止中
支え愛カフェ 永江	永江	社会福祉法人こうほうえん	第2、3火曜日 10時～12時
支え愛カフェ 石井	石井		第2、4月曜日 10時～15時
みのかやオレンジカフェ よらいや	一部	社会福祉法人 博愛会	休止中
オレンジカフェ やまとなでしこ	淀江町佐陀	社会福祉法人 敬仁会	休止中
福米支え愛センター オレンジカフェ	新開2丁目	社会福祉法人 真誠会	休止中
富士見町オレンジカフェ	富士見町		休止中
米子中央オレンジカフェ	西福原8丁目		休止中
米子オレンジカフェ	河崎		休止中
富益オレンジカフェ	富益町		休止中
弓浜オレンジカフェ	大崎		休止中
和田ふる里オレンジカフェ	和田町		休止中
皆生ローズガーデン オレンジカフェ	新開3丁目		休止中
浜の絆オレンジカフェ	夜見町		休止中
真誠会プラザ オレンジカフェ	上福原		休止中

5. 認知症の人を含む高齢者の住みやすい地域づくりの推進

①認知症高齢者等事前登録制度

認知症等で行方不明になるおそれがある方を、希望により事前登録しておくことで行方不明になっても早期発見、保護できるための制度をつくり、米子警察署との連携を強化しています。

また、希望者には反射シールを配布しています。

	H29 年 8 月～R5. 2 月	
		うち R4 年 4 月～R5 年 2 月
登録数	457 人	72 人
登録時平均年齢	82.8 才	82.8 才
性別	男性 200 人、女性 257 人	男性 32 人、女性 40 人
所在	在宅 386 人、施設 71 人	在宅 70 人、施設 2 人

②はいかい高齢者家族支援サービス

行方不明になるおそれのある認知症の人に GPS を携帯してもらい早期帰宅を支援しています。
(利用料 月額 525 円) 2 件

6. 認知症の人やその家族の視点の重視

①米子市の認知症施策を考える会（オレンジの会）

市の認知症施策検討部会として位置づけ、施策の充実に向け協議します。

認知症の人や介護する家族の思いを施策に繋げていきます。